

（６）木曽地域 ～ 未来につながる木曽の豊かな農業・農村と食 ～**■ 達成指標の進捗状況**

重点 取組	達成指標	(2021(R3)年)	(2024(R6)年)		(2027(R9)年)
		現状	計画	実績	目標
1	地域計画の数	0	22	15	22
	新規就農者数（49 歳以下）	3 人	2 人	2 人	2 人
2	米の 1 等米比率	78.9%	83%	67%	85%
	御嶽はくさい栽培面積	50ha	48ha	43ha	45ha
	木曽子牛出荷頭数	5.7 頭／戸	5.9 頭／戸	5.3 頭／戸	6.0 頭／戸
	花き・花木類の栽培面積	2.3ha	2.4ha	2.4ha	2.4ha
3	野生鳥獣被害額	12.8 百万円	12.3 百万円	10.2 百万円	11.8 百万円
	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	493ha	489ha	485ha	489ha
	農業用水を活用した小水力発電の設備容量	34.4kw	366kw	366kw	366kw
4	伝統食材提供店舗数（木曽牛、すんき、木曽産そば）	57 店	58 店	57 店	60 店
	伝統野菜の栽培面積（王滝蕪他 6 品種）	2.1ha	2.1ha	1.9ha	2.1ha

重点取組 1：多様な担い手が支えあう木曽の農業・農村

○地域計画の作成に向け関係機関が一体となって町村毎の意向調査の実施。「協議の場」の開催（4 月～1 月）、その後、意見集約。（計画の公表数 15（90 集落））。

○農業入門講座を 12 回開催し（10 名参加）。

○木曽青峰高等学校と農業者が連携した「農業の魅力発見セミナー」を主催し、地場産物の魅力を理解する講座を開催（講座 4 回延べ 101 人参加）



【地域計画目標地図の検討】

重点取組 2：木曽ブランドを支える産地づくり（土地利用作物、園芸品目、畜産振興）

○斑点米の減少に向けたドローンによる 2 回防除の効果検証と啓発活動。

- ・ 標高を変えた試験圃場 3 カ所で防除効果を確認（成果報告 3 回、防除基準改正）。
- ・ 発生情報と登熟積算気温情報に基づく適期収穫の啓発（7～8 月 3 回）。

○スマート農業技術等の導入による御嶽はくさいの品質及び生産性の向上

- ・ 開田高原 5 圃場にて土壌診断結果に基づき、①基肥の窒素 2 割減肥、②基肥及び追肥の窒素 2 割減肥試験の実施（成果報告 11 月 1 回）。

○畜産クラスター協議会と連携したクラスター事業の推進



【新規就農者との土壌断面調査】

- ・郡内畜産クラスター協議会における補助事業を活用した農家の経営発展（5 協議会 11 経営体）
- ・和牛繁殖技術向上研修会の開催（1 月 20 日）
- ・優良子牛生産の支援（ジャケット購入費を補助）

○地域に適応した花き・花木の生産支援

- ・啓翁桜早期出荷に向けた栽培管理指導（大桑村）
定植 4 年目（大桑村圃場）を拠点に、栽培管理の検討、新規栽培者向けの講習会を開催。ふかし（促成栽培）の講習会を開催（2 回）
- ・新規花木品目（10 品目）から、ディアボロ栽培マニュアルの作成（上松町）
ミズキ、アナベル、バッカリス等の品目検討。その他品質向上技術の検討実施。
- ・啓翁桜と新規花木の中間検討会の開催（8 月 1 回）



【ディアボロ現地視察】

重点取組 3：みんなが生き生き暮らせる、持続可能な農村づくり

○関係者一丸となった捕獲、防除、環境整備等の野生鳥獣被害対策の推進

- ・鳥獣被害防止対策交付金事業の活用と、既設の電気柵及び侵入防止柵の点検巡回による被害軽減の推進(6 協議会、事業費総額 7,523 千円)
- ・整備事業（2 町村）、推進事業（6 町村）で実施。侵入防止柵の設置、箱わな・くくりわな、二ホンザル用の GPS 首輪等の購入や緩衝帯整備等を実施。
- ・電気柵等の適切な設置点検巡回を夏季に実施し、適切な管理を指導（5 町村 6 地区）。

○多面的機能支払事業の事務手続き研修会、水路等の維持補修に関する講習会等の開催(7 回)上記研修会及び講習会を上松町（2 組織）、南木曽町（5 組織）、木曽町（3 組織）大桑村（1 組織）で開催（8 月～12 月）

○農業用水を活用した小水力発電施設の整備推進及び技術的支援

- ・管内町村担当者の現地研修会を開催（11 月 28 日 11 名）他図上における適地調査（木曽町他 2 箇所）



【小水力発電所研修会】

重点取組 4：木曽ならではの食による地産地消と食育の推進

○「木曽ならではの食材」を扱う店舗と連携した木曽地域の魅力発信

- ・関係団体等と連携し、地域振興推進費を活用による、神戸（8 月）名古屋（10 月）東京（12 月）名古屋・松本市（1 月）で木曽地域農産物認知度向上事業を実施

○小中学校を対象とした食育授業等による地元農産物への理解促進と地産地消

- ・関係団体等と連携した王滝小学校で「信州の伝統野菜」学校栽培支援事業を実施
- ・木曽管内の小中学校 15 校で「木曽牛給食の日」として木曽を提供



【王滝小学校のすんき授業】